

DIAMOND 金剛小通信 4月

よろしくお願ひいたします 金剛小2年目に入りました校長の米村雄二です。せっかくの金剛です。『金剛』とは、金属の中で最も硬く、最も高価で、最も美しい金剛石のことです。子供たちが最高に輝くよう、本年度の通信名にしました。

令和2年度 就任式 8日(水)、本年度、転入した12人(弥次分校には5人)の職員の就任式を行いました。どちらも新型コロナウイルス感染予防対策として運動場で行いましたが、子供たちの態度は長い休み明けとは思えないほど、とても素晴らしいものでした。転入者は皆、素晴らしい学校に転入したということを実感したようです。保護者の皆様にはなかなかお目にかかれませんが、どうぞよろしくお願ひいたします。

第1学期 始業式 同じ8日に実施、昨年初めより3人多い、全校児童268人でスタートですが、始業式は入学式前なので2年生以上での実施です。今年は就任式後に発表した担任の先生と教室に入り、放送で校長からの話をしました。

今年も子供たちには、「金剛小学校で学ぶことを誇りに思う」ために、永久に変わることのない『校訓』を大切にしてほしいと呼びかけました。「やさしく、うつくしく、かしこく、たくましく」育つための方法として、①「怒らず威張らず、真に強く優しい人に」、②「正しいことをしている人をねたまず、認め、褒めることができる人に」、③「気付き、考え、友達と協力して解決し、次の問題を見付けていく勉強に取り組む人に」、④「体を鍛え、安全と、心の健康にも気を付ける人になってください。」と話しました。

意識して実践・行動することとしては、「あいさつ・聞き方・そろえ方プラス約束を守る」とし、『『きまり』を守ることで、自分を大切にすることができます。『時間』を守ることで、『相手を思いやる心』、つまり、『人を大切にする心』が育ちます。『あきらめない心』も、『自分との約束』と考えれば、自分で育てることができます。』と話しました。

弥次分校でも同じように行いました。みんな静かにきちんと聴いてくれていました。

金剛小学校では、全職員が担任のつもりで、子供たちが学級の垣根を越えて、誰にでも何でも相談できる体制を作りたいと思います。期待に満ちた新学期、夢や希望をしっかりとってスタートダッシュを決めてほしいと思いますので、お子様も保護者の方も不安なことなどございましたら、どうぞ担任以外にも、いつでもどんなことでもご相談ください。

令和2年度 入学式 9日(木)、昨年より5人多い46人が仲間入りしました。翌日から高植の本校19人と弥次分校27人は別々に勉強しますが、どちらも八代市立金剛小学校の1年生であることに違いはありません。大切に育てます。新入生には、八代型小中一貫・連携教育の、育ちと学びの土台づくり「やつしろスピリッツ」の愛言葉『あいさつ・ききかた・そろえかた』の話をしました。「返事・集中力・後始末」まで広げ、発達段階に応じて指導していきます。心も体も頭も、担任を中心に全職員一丸となって鍛えます。ご理解とご協力、ご支援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。